

ふだんの授業展覧会 国語科学習指導案

授業者 大阪教育大学附属天王寺中学校 教諭 伊藤 博紀

日 程：令和7年2月8日（土曜日）

場 所：大阪教育大学附属天王寺中学校 第1学年教室（北館2階）

対 象：第1学年生徒（各学級36名）

単 元：多様なモードで物語を表現する（教育出版「伝え合う言葉 国語」P226-229）

1. ふだんの授業における指導の工夫

- ・ 学習者が抱いた問い合わせを交流し、協働的に解明する探究的な学習単元の設定
- ・ テクストの構造を手掛かりに分析・解釈を行う「読み」の観点の育成
- ・ 授業での学びを、学習者の日常生活と結びつける意識付け

2. 本単元について

① 授業計画：全2時間、ないしは全15時間を下表の通り実施する。

1次 「映像をよむ」体験編 教材：言の葉の庭	1 『言の葉の庭』を視聴	全体	1時間
	2 「構図」を意識して再視聴	全体	1時間 【本時】
2次 「映像をよむ」実践編 教材：すずめの戸締まり	1 『すずめの戸締まり』予告編を視聴 →本編視聴時に意識する読みの観点を共有	全体	1時間
	2 『すずめの戸締まり』本編を視聴	全体	4時間
	3 再視聴時に意識する読みの観点を共有	班、全体	1時間
	4 班ごとに定めた観点から本編を再視聴	班	4時間
	5 各班の発見を共有	班、全体	1時間
	6 アウトプット活動 「もう一度『すずめの戸締まり』を見る人へ」作成	個人	2時間

② 目標：

- ・ マルチモーダル・テクストの表現の特質を理解している。
- ・ 『すずめの戸締まり』の物語構造を明らかにしながら作品の魅力を捉えることができる。

■ 知識及び技能

- ・ 多様な言語様式によって構成されるマルチモーダル・テクストの特徴について理解している。

■ 思考力、判断力、表現力等

- ・ マルチモーダル・テクストを構成する多様な要素（構図・色彩・セリフ・音楽・効果音など）を手がかりに、物語の構造を捉えている。

■ 学びに向かう力、人間性等

- ・ 自らの感想を手がかりに、粘り強く作品分析の観点を見つけ出そうとしている。
- ・ 作品の全体と部分の関係を意識して分析の観点を修正しながら、自律的に作品を分析・解釈しようとしている。

3. 本時の学習について

① 目標：

- ・ マルチモーダル・テクストを構成する多様な要素を用いて仕掛けられた工夫に注目して、映画を観て語り合う楽しさを分かち合う。

② 評価規準・観点

- ・ 後に続く『すずめの戸締まり』の実践編で行う。

③ 学習過程

段階	学習活動（○）	指導上の留意点（△）
導入 (5分)	○本時の目標を確認する。 ・ 映画の面白さを100点満点で数値化する。	△映画の面白さを点数化する規準を示す。 ・ おそらく「対して面白くはないが無料なら暇つぶしに見てもよい」という感想が多いと予想されるため、生徒が忖度せずに意思表示できる雰囲気を維持する。
	○作品の内容（あらすじ）を確認する。 ・ 適宜、近くの人と話しながら思い出す。	△今日の授業では教員がどのような観点から映像作品を分析していたか、また今日の授業の前後で、自分の感想が変化するかどうか意識しながら授業を受けてほしいと伝える。
展開1 (10分)	【言語表現に注目して映像作品を「読む」】	
	○作品における雨の役割を確認する。	△下記内容について説明する。 ・ 世間的には嫌なものと捉えられることが少なくなった雨だが、この作品の2人にとっては嬉しいものとなっている。 ・ 2人は雨の日だけ会うことができる。逆に晴れの日は会うことができない。
	○物語の型を踏まえて映画を見る視点を共有する。	△下記内容について説明する。 ・ 特別な日にだけ会える2人の物語であれば、最後に2人が「特別な日以外も会えるような関係に変化するのか」あるいは「特別な日だけ会える関係性が継続するのか」のように、どのような結末に着地するのか予想しながら見ると面白い。
	○作品内チャプター5（7月の場面）を再視聴する。	△下記内容について説明する。 ・ 雨でもあり晴れでもある「お天気雨」が用いられていることから、この場面での2人の様子は今後の2人の関係性を示唆する可能性が高い。 ・ 物語内容と言語表現に注目すると、2人は互いに贈り物をし合い、「タカオはユキノにどうしようもなく惹かれている」ことがわかる。

	○ここまで情報をもとに考えると、この後2人の関係性は好転していくか、悪化していくか予想する。	◇グーパーで意思表示を促す。
展開2 (30分)		【構図に着目して映像作品を「読む】
	○続きの場面を視聴する。 ○人物と線に関わる特徴的な構図を2つ知る。 ○チャプター5を再視聴する ・「人物を囲む線」もしくは「人物を隔てる線」を見つける。 ○作品のクライマックスを視聴する。 ・「人物を囲む線」もしくは「人物を隔てる線」を見つける。 ○さらに作品を読み深める問い合わせ方を知る。 ○告白の場面を視聴する。	◇下記内容について説明する。 ・直後の場面では2人の関係性は悪化している。 ・悪化する伏線は前の場面に仕掛けられていた。 ◇下記内容について説明する。 ・「人物を囲む線」は2人が親密な関係であることを象徴的に表す。 ・「人物を隔てる線」は2人が離別することを象徴的に表す。 ◇下記内容について説明する。 ・ <u>ピン送り</u> によって木の枝が2人を隔てる線となってあらわれる。 ・言語表現では「どうしようもなく惹かれていく」と言わせながら構図で2人の離別を象徴的に表す。 ・他の「お天気雨」が登場するシーンを視聴すると、同様に2人の関係性を予想することができるはず。 ◇下記内容について説明する。 ・ <u>パイプ</u> とその影によって2人が囲われる。 ・太陽の光が差したことで影ができる。 ・「雨」を軸に物語の転換部とクライマックスが作られる。 ◇下記内容について説明する。 ・なぜクライマックスは階段なのか？廊下ではだめなのか？ ◇下記内容について説明する。 ・ <u>2人の立場の違い</u> が画面上の位置関係に表されている。 ・クライマックスの場面では「雨」と「ユキノの涙」が描き分けられている。
終末 (5分)	○授業の感想を書く。 ・これから自分が映画を見るときに意識したいことを書き出す。	◇本時は教員が先導する形で映画を「読む」授業を行ったが、次回以降は自分たちで分析の観点を決めて作品を読み深める学習を行うことを告知する。

4. 参考文献

- 田近洵一 (2022)『国語教育革新の視点—「学び」を通して、人間として生きる—』東洋館出版社
- 羽田潤 (2020)『国語科教育におけるメディア・リテラシー教育の研究—マルチモーダル・テクストの活用を中心にして—』溪水社
- 松山雅子 (2015)『イギリス初等教育における国語科教育改革の研究』溪水社
- 松山雅子編著 (2005)『自己認識としてのメディア・リテラシー文化的アプローチによる国語科メディア学習プログラムの開発—』教育出版
- 松山雅子編著 (2008)『自己認識としてのメディア・リテラシー PARTⅡ—文化的アプローチによる国語科メディア学習プログラムの開発』教育出版
- 松山雅子編著 (2021)『書くことの力を育むマルチモーダル・アプローチ—自己認識としてのメディア・リテラシーをめざして—』溪水社
- 御木茂則 (2023)『映画のタネとシカケ』玄光社
- 山崎達璽 (2021)『探究活動ではじめる動画・映像制作～映画監督がひととく1人1台タブレット時代の新しい学び～』Kindle版
- 山崎達璽 (2023)『動画・映像制作が創るクリエイティブな学び～映像表現を活用した小中高「探究学習」』インプレス刊

5. 観察記録欄

教卓

1	9	17	24	
2	10	18	25	31
3	11	19	26	32
4	12	20	27	33
5	13	21	28	34
6	14	22	29	35
7	15	23	30	36
8	16	※実線で囲われた4人で1グループ		

※ 本時ではグループ活動は行いません。茶話会で「○の番号の生徒のつぶやきが面白かった」などお話しする材料としてご活用ください。

6. 『言の葉の庭』の特徴的なカット

- 授業内で取り上げた「人物を囲む線」「人物を隔てる線」「人物の位置関係」に関するカットを抽出した。

Cut	Picture	Action/Dialog	Notes (授業者による)	Time
D71		タカオ 「……それって、仕事のこと……？」 ユキノ 「ん……いろいろ」	【構図】 ・フォーカス送りによって「人物を隔てる線」が登場する	20:30
.		フォーカスが手前の枝に合う。 タカオ mono 「……この人のことを、まだ何も知らない。仕事も歳も、抱えた悩みも、名前さえも。」		20:34
D72		それなのに、どうしようもなく—惹かれていく」	・2人を隔てる枝とタカオのモノローグによって非常にアイロニカルな表現になっている。	20:41
G19		タカオ 「俺、ユキノさんが好きなんだと思う。」	・座って告白するやつはない。何か意図があるはず。	34:26
G20		ユキノ 「……！（息）」		34:32
.		驚きが喜びを伴って広がっていく。 瞳が潤む。		34:35

Cut	Picture	Action/Dialog	Notes (授業者による)	Time
.			しかし自分の立場を思い出し、ゆっくり俯きつつ表情には陰りが差していく。	34:38
.			ユキノ 「……（息）」	34:40
G21			タカオはユキノをまっすぐに見つめているが、	34:43
.			沈黙の長さが返答なのだと悟りつつ、俯く。	34:46
G22			G18 同ポジ。 ユキノは手に持ったカップを置きつつ、	34:50
.			タカオに体を向け、すこしだけ動搖したように言う。 ユキノ 「……ユキノさん、じゃなくて、先生、でしょ」	34:51
G23			G21 同ポジ。 分かっていた答えではあるけれど、ユキノの言い方に子供扱いされているような苦しみを覚える。 かすかな表情変化。	34:54

Cut	Picture	Action/Dialog	Notes (授業者による)	Time	Cut	Picture	Action/Dialog	Notes (授業者による)	Time
G71		タカオの叫びを聞く		39:39	G74		タカオにしがみつき号泣しているユキノ 「うわあああああ！」		39:48
.		もうどうしていいかわからず、	・絵コンテでは判別しにくいが、この瞬間日が差してお天気雨に。 ・G71と同様に雨と晴れのあわいの時間	39:43	G75		驚いていたタカオ		39:51
.		駆け出してしまう。 カメラいっぱいまで。		39:44	.		ユキノの行動と鳴き声と体にさらに胸が苦しくなる。 ユキノが泣きながら言葉を絞り出す。 「……まいあさ、」		39:51
G72		階段を駆け下りるユキノの足 In/out	・授業では触れていないが、本作には足のアップのカットが多い。 ・ユキノの人物像を象徴するカットである。	39:44	G76		ユキノ (嗚咽の合間にセリフ) 「……毎朝、ちゃんとスーツ着て学校に行こうとしてたの ……」		39:55
G73				39:44	.		でも、怖くって…… どうしても行けなくて…… (嗚咽続く) 涙がパタパタと落ちる。 雨も吹き込んでいる。	・重要な舞台装置として機能してきた雨と、ユキノの変容を象徴するが流す涙が美しい映像表現で描き分けられる。	40:09
.		タカオに駆け寄り、		39:45	.		G74 寄り ユキノ あの場所で…… わたし……		40:09
.		思い切り抱きしめる。 動き納めきらない。	・絵コンテには描かれていないが、映像では二人を囲うようにパイプとその影が配置される。	39:46	.		G75 寄り あなたに…… 救われたの……		40:13

出典 新海誠(2018)『言の葉の庭』新海誠 絵コンテ集5』